

2017年度

# 事業報告

2017年4月1日から

2018年3月31日まで

公益財団法人 神林留学生奨学会

## 1. 事業活動

### (1) 外国人留学生奨学金支給事業／活動、研究への助成事業

#### ①2017年4月26日(水)

選考・審査委員会開催。2017年度奨学生として大学院生15名の採用を決定（継続採用9名を含む）。同研究助成5件の採用を決定。

#### ②2017年4月28日(金)

採用者および大学宛に採用通知発送。研究助成採用通知発送。

#### ③2017年 4月1日～2018年 3月31日

2017年度奨学生15名に対し、各12万円を月々支給。（但し、4・5月分は5月に支給）

2017年度研究助成 5件に対し5月に各50万円を支給、さらに11月に4件に対し残りの50万円を支給。

#### ④2018年1月9日(火)

書面決議にて、選考・審査委員会を開催し、2017年度研究助成追加1件の採用を決定し、1月に100万円を支給。これにより、2017年度の研究助成は年間合計550万円（50万円：1件 100万円：5件）となった。

#### ④2018年1月11日(木)

2018年度募集書類（推薦依頼）を指定大学（35校）宛発送。

### (2) 奨学生に対する主な奨学支援事業

#### ①2017年5月20日(土) 【支出合計額：220,207円】

「2017年度奨学生採用式」を開催。また、採用式終了後の歓迎昼食会では奨学生、研究助成者と財団役員の交流を図り、あわせて生活指導を行った。

（出席者34名）

#### ②2017年8月27日(日)～8月28日(月)（1泊2日）【支出合計額：956,071円】

奨学生、研究助成者、財団役員を対象に夏季研修旅行「箱根・熱海1泊2日旅行」を実施。「MOA美術館」、「大涌谷」、「箱根彫刻の森美術館」等、箱根・熱海の実験展や由緒ある施設を中心に、芸術と自然の調和を堪能し、日本の伝統的な文化や芸術作品に触れる機会を得た。

なお、移動の車中や見学先で行動をともにしたことや、宿泊先での食事会等で、奨学生は国、地域、研究分野を超えて交流を深め、相互理解を促進できた。また、財団役員との交流を図るとともに、研究の相談や生活指導等も行った。

#### ③2017年9月30日(土)

奨学生の「エッセイ、小論文」、研究助成者の「研究中間報告」の提出締切。

奨学生の、日本と自国に対する思いや留学での関心事、研究内容等を把握する上で大変役立つ。同時に、生活指導の資料として貴重なものとなった。

④2017年12月3日(日) 【支出合計額：844,794円】

年末交流会を上野・精養軒で開催。奨学生、研究助成者、奨学生OBとその家族、財団役員が一堂に集い、相互交流を図り親睦を深めた。(参加者64名)

⑤2018年2月

奨学生に対し、卒業の可否、次年度の進級・進路予定等の確認を行った。

⑥2018年3月14日(水) 【支出合計額：191,040円】

2017年度奨学生「卒業報告会」並びに「卒業生お祝会」を学士会館で開催。卒業生からは、論文のサマリー発表を、進級者や研究助成者からはこの1年間の研究発表が行われ、互いの研究内容を知り、相互啓発、交流を図った。

(出席者20名、うち卒業者(博士3名))

⑦奨学生に、日本、アジアの文化芸術を学んでいただく目的で、次のイベントに参加した。同時に役員、奨学生の交流を図った。

1) 2017年7月15日(土) 【支出合計額：10,000円】

「新作歌曲の夕べ」鑑賞(於、すみだトリフォニーホール)

2) 2017年9月19日(火) 【支出合計額：0円】

「能楽鑑賞講座 楊貴妃」(於、アートコンプレックスセンター)

3) 2017年10月8日(日) 【支出合計額：101,869円】

「能・狂言(仕舞：天鼓、項羽 狂言：咲嘩 能：楊貴妃)」鑑賞(於、十四世喜多六平太記念能楽堂)

4) 2017年11月13日(月) 【支出合計額：28,000円】

「田大成テノールリサイタル」鑑賞(於、文京シビックホール小ホール)

5) 2017年12月18日(月) 【支出合計額：15,600円】

「外国人のための文楽鑑賞教室(傾城恋飛脚)」鑑賞(於、国立劇場小劇場)

## 2. 附属明細書について

2017年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上